



きいてください!



今の私たちの思いを!!

最後まであきらめたくありません!!

たくさんある職業の中の一つとして、学童保育指導員の仕事を選びました。指導員の仕事は片手間で出来るものではないことは実際に働いているもの一人として強く実感していますし、それは事実なのです。

今、示されている労働条件では年収が減ってしまい、生活していけるのか不安です。“この仕事を続けたい” “このまま終わらせたい” という思いと “これから生活していけるのか” という不安の間で揺れています。最後まであきらめたくありません!

船橋市の学童保育指導員の中には、20代の若者が30人います。この仕事が好きで“ずっと指導員として働きたい”とこれまで頑張ってきました。生活の保障がされない!!ということは必然的に若い人たちが一生の仕事として選択することが出来ないということです。

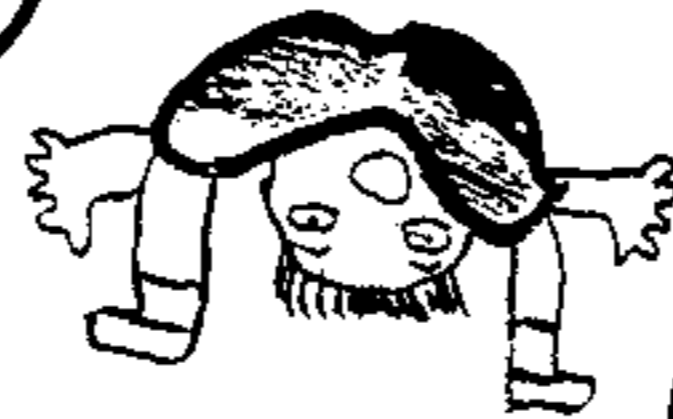
10万人の署名・私たちの思いは誰にも受けとめてもらえないのか...やりきれない気持ちでいっぱいです。そんな中、15日船橋広報に「指導員の募集」が出されました。

こどもたちになんて

説明したらいいのか..

「私が6年生になるまでずっといてね!!」と子どもに言われましたが、「うん!!」とはっきり答えられませんでした。

もし、不合格になってしまったら...こどもたちになんて説明したらいいのか..



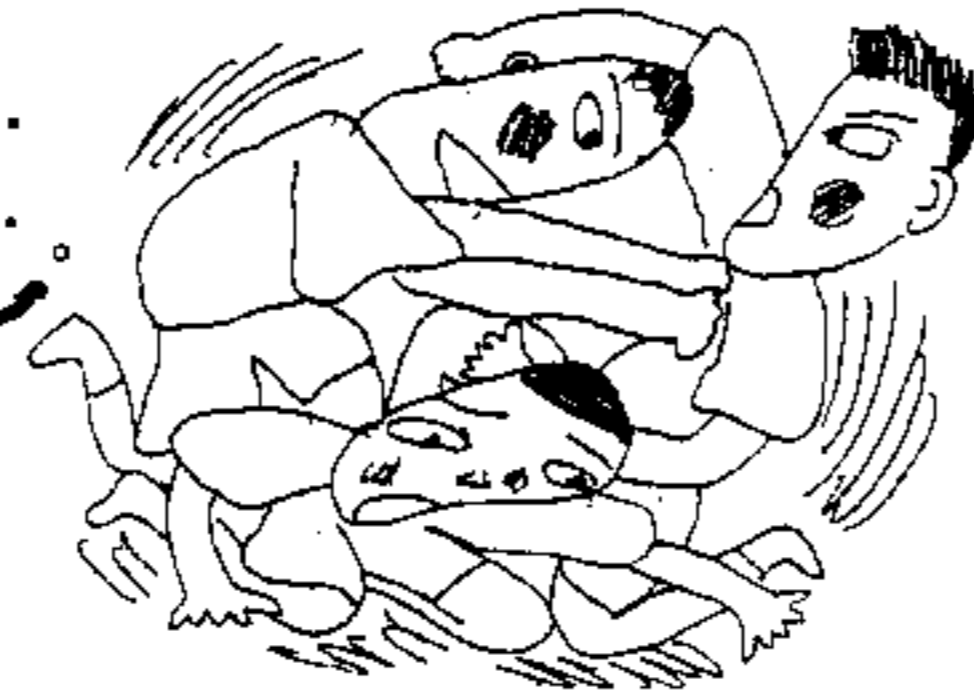
この不景気の中、職探し..?

指導員採用試験受験案内を手にした今、とても複雑な心境です。“試験を受けてたとえこの仕事を続けたとしても現状を下回る収入にどのように対応すればいいのか?”

“試験を受けて不合格となったら、今、日々接しているこどもたちは..?”

“この不景気の中、職探し..?”

望んでいた公設公営を目前にしてとにかく不安でいっぱいです。



船橋市学童保育指導員労働組合

1999年12月21日 No.21

連絡先: 小栗原学童保育 047-335-8664

親も子ども安心できる学童保育を

12月15日付けの広報「ふなばし」での放課後ルーム指導員募集がだされました。分からないことがいっぱい「このままで本当に来年からスムーズに公設公営に移行できるのか」不安を感じずにはられません。子供たちの充実した放課後のために保育内容について具体的な話し合いがしたいです。経験者としての現指導員の声を聞いてほしいです。話し合いの場を持つのなら、経験を考慮した採用方法や経験加算の報酬は当然のことだと思います。私たちは、親も子ども安心できる学童保育を守り続けていきたいのです。



とても不安です……

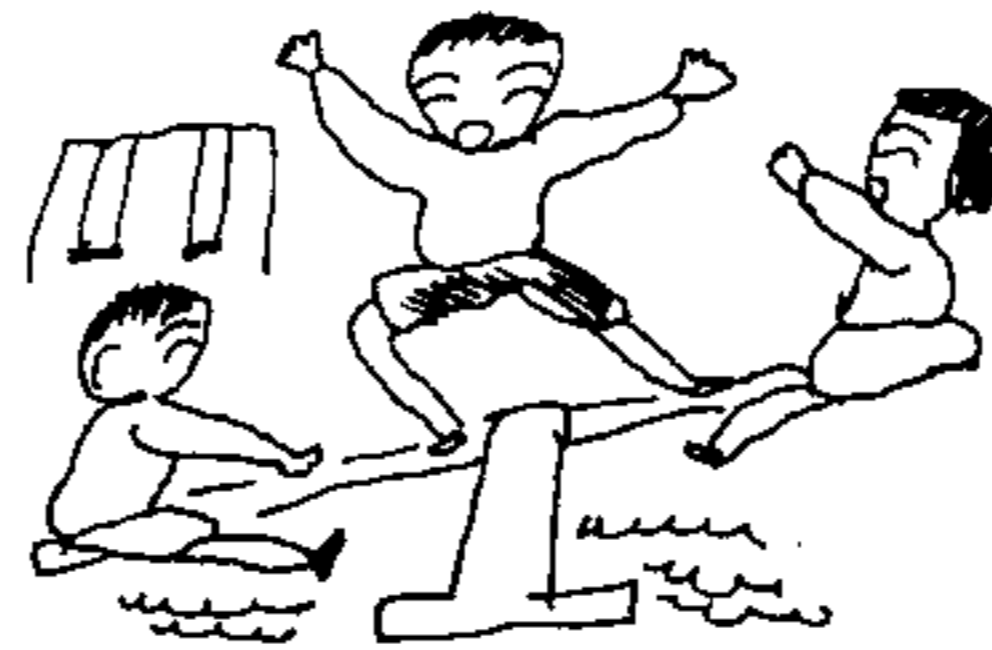
受験案内を手にしたとき、本当に試験が行なわれるんだーということ、それに、受からなければ、来年4月から指導員として働けないんだーということに改めて実感しました。今までやってきたことが受け入れられないようにやっばりつらいです。その試験で採用されると思うととっても不安です……



私たちの声

先が見えず……

「働き続けたい！」そんな一心で父母や子どもたち、指導員仲間……周りの人たちに支えられて、先が見えない不安をかきけすように今まで署名活動や運動に取り組んできました。今までのことも報われないまま今回の募集が出され、その不安はつづいていくばかりです……



何よりも残念で悔しい……

行政の機械的な対応が何よりも残念で悔しい。今まで子どもたちのことを第一に考えて、様々な苦勞を乗り越えてきた指導員の経験は浅いながらも子どもたちと一緒にいることに幸せを感じ、これからもずっとこの仕事を続けていきたいと考えていた指導員。「新しい事業だから」「規則だから」「新しい事業だから」でかたづけしてしまうのではなく、もう少し現在の指導員の立場にもたって考えてほしい。実際にこれから働いていこうと考えている人の立場に立って考えてほしい

船橋市学童保育指導員労働組合

No 21 1999年12月21日

